

2052プロジェクト構想計画

2024/2052活動予定

AQUATICS COACH BASIC LICENSE
水泳競技コーチの基礎資格 (案)

JASF競技力向上コーチ委員会：2052プロジェクト構想計画__角田壮監 (KAKU SPORTS OFFICE)

AQUATICS COACH BASIC LICENSE

コーチ3・コーチ4の基礎部分

基礎水泳指導員

- 水泳指導教本 >>> 競泳対象の傾向が強い

水泳競技コーチの基礎として十分なのだろうか？

- 飛込：現場の声
- ハイダイビング：現場の声
- 水球：現場の声
- アーティスティックスイミング：現場の声
- オープンウォータースイミング：現場の声

AQUATICS COACH BASIC LICENSE

水泳競技コーチの基礎資格が必要

水泳とは、

新村出編：広辞苑【水泳】 水の中をおよぐこと。水およぎ。

【水泳】

水中における身体運動の総称。

1学校教育における体育科に属する単元の名称。水中における運動や安全に水辺を利用できる能力を育成すること目的とする教育。

2 海・川・湖・プールなどで行われる娯楽、健康法のひとつ

3水泳競技のこと。競泳、水球など。

- **競技力向上指導指針準備号**
- **2023（令和5）年度でベロップメントワーク・ワークショップ報告書**

水泳競技とは

【水泳競技】

泳法・入水・浮遊・潜水などを用いて記録や優劣を競い合うこと。

【世界水泳における水泳競技】

競泳・飛込・水球・アーティスティックスイミング・オープンウォータースイミング・ハイダイビングなどの総称。

【日本水泳における水泳競技】

競泳・飛込・水球・アーティスティックスイミング・オープンウォータースイミング・ハイダイビング、日本泳法の泳法競技の総称。

2052プロジェクト構想計画：角田壮監（KAKU SPORTS OFFICE）

AQUATICS COACH BASIC LICENSE

コーチ3・コーチ4の基礎部分

水泳競技コーチ

水泳競技とは

【水泳競技】

泳法・入水・浮遊・潜水などを用いて記録や優劣を競い合うこと。

【世界水泳における水泳競技】

競泳・飛込・水球・アーティスティックスイミング・オープンウォーター
スイミング・ハイダイビングなどの総称。

【日本水泳における水泳競技】

競泳・飛込・水球・アーティスティックスイミング・オープンウォーター
スイミング・ハイダイビング、日本泳法の泳法競技の総称。

JASF水泳競技コーチBASIC資質

共通資質（共通科目） & 専門資質（専門科目）

①共通資質

水泳競技コーチが共通して身につける能力・知識

②専門資質

各競技コーチが共通して身につける能力・知識

JASF水泳競技コーチBASIC資質

共通資質（共通科目）

①JASF組織の理解

- WORLD AQUATICS
- JASF
- 水泳・水泳競技に関する理解

誰もが輝ける

心豊かなアクアティクスワールドのInfluencer

②水泳競技、競技会の理解と発展

>水泳競技の理解

仲間と共に「今を」越えていく
クリーンでフェア>心豊かな社会づくり

>競技会の理解と発展

勝利を追求する、記録を越えていく、感動、希望、活力
競技会は、晴れ舞台であり、祭典である。

フェアプレー、グッドマナー、グッドプレー（レース、ダイブ、ルーティーン、ゲーム）ジャッジやオフィシャル、ファン、スポンサー、メディアとの協調

>>競技役員資格

>>審判資格

>>アンチ・ドーピング

>国際的視点：日本から国際社会に貢献する

2052プロジェクト構想計画：角田壮監（KAKU SPORTS OFFICE）

JASF水泳競技コーチBASIC資質

共通資質（共通科目）

③競技者を理解

- 競技者は「人」である
- 発育、発達、性別
- 多様な価値
- 競技者は「幸せ」になりたい

④水泳競技コーチの基礎

- クッドスタンダード&リスペクト
高め合う、学び合う、認め合う、助け合う
- 安全と安心（セーフガーディング）
- 誠実、真摯（インテグリティ）
- 競技者を一流に導く
一流の定義（探求）
- 学び続け、行動し続ける

JASF水泳競技コーチBASIC資質

専門資質（専門科目）

- ①水泳競技（知識・技術・戦術）コーチ：各水泳競技委員会連携
 - ②他競技（動作、姿勢・戦術）コーチ：他競技有資格者（体操、トランポリン、陸上など）
 - ③フィジカルコーチ：アスレチックトレーナー&理学療法士
-
- ④AQUATICS トレーナー&マッサー：該当資格（AT&柔道整復師）

JASF水泳競技コーチBASIC資質

専門資質（専門科目）

①各水泳競技委員会連携

A_BSC1：水泳競技（AS、DIV、WP、OWS） ※SW：基礎水泳指導員資格

②他競技有資格者：該当資格（体操コーチ3、トランポリン3、サッカーB、陸上など）

A_BSC2：他競技（GYM、TRP、ATH など）

③フィジカルコーチ：該当資格（アスレチックトレーナー&理学療法士）

A_BSC3：フィジカル（F）

④AQUATICS トレーナー&マッサー：該当資格（AT&柔道整復師）

A_ATBSC：AT&柔道整復師

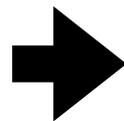
JASF水泳競技コーチBASIC養成

概略（案）

資格：水泳競技者の基礎要素の成長支援のコーチ資格

名称：JASF公認水泳競技BASICコーチ（総称）

- ・ JASF公認AB_DIVコーチ（飛込コーチ）
- ・ JASF公認AB_WPコーチ（水球コーチ）
- ・ JASF公認AB_ASコーチ（ASコーチ）
- ・ JASF公認AB_OWSコーチ（OWSコーチ）
- ・ JASF公認AB_Fコーチ（フィジカルコーチ）



- ・ 基礎水泳指導員（競泳コーチ）

JSPO水泳競技コーチ3の
基礎部分になる

-
- ・ JASF公認AB_AT（水泳競技トレーナー）

JASF水泳競技コーチBASIC養成

概略

保証：フェアでクリーンな水泳競技文化の理解者である。

水泳競技者の基礎要素の（成長）支援ができるコーチである。

身分：JASF主催競技会、予選会に出場する選手、チームに関与できる。

地位：JSPOコーチ3の基礎

資格取得条件：JASF公認水泳競技コーチベーシック規程作成

関連規程との整合性：登録・コーチ3との紐付けなど

資格取得条件・環境：JASF公認水泳競技コーチベーシック規程作成

資格更新条件・環境：JASF公認水泳競技コーチベーシック規程作成

>>（例）年間登録費納入・更新研修修了義務

※水難事故及び安全管理・救急救命は保証対象としない。

2052プロジェクト構想計画：角田壮監（KAKU SPORTS OFFICE）

(背景)

JASFドリームプロジェクトを基盤に策定された「2017-2024中期計画」

JASF水泳競技コーチ事業の結果

全項目で目標未達成、未着手の項目もあった。

- 水泳競技コーチ登録数

↳未達成

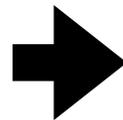
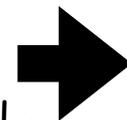
↳さらに減少傾向

- 日本代表の強化と活躍

↳ナショナル活動とコーチ委員会関係性なし

- 世界レベルのコーチの養成

↳未着手



BASIC LICENSE 新設

>> 競技者からコーチへのスムーズな移行

>> 継続的な関わり

>> 公認水泳競技コーチの普及（質の保証）

>> 共通理解、共通認識

>> 他競技コーチの登録

>> 質の高い競技会の持続的な開催

>> 育成・強化・コーチ養成の三位一体

>> 日本代表の強化につながる一貫指導

>> ナショナル活動のフィードバック

>> 世界最先端の把握

>> 底辺の拡大=大きな三角形の土台

>> 経験・学びの始まりの時期>発掘

>> 他競技文化からの学び

2024/2052プロジェクトが推進する取り組み

水泳競技コーチ事業_対象：水泳競技コーチ（コーチ3、コーチ4__コーチBS)

- ・水泳競技文化を豊かにする>>フェアでクリーンな水泳競技文化の理解者
記録・採点・勝敗・順位を目指すことの競技スポーツの価値
勝敗を越える価値がある（日本アンチ・ドーピング機構）
質の高い魅力的な競技会の持続的な開催
- ・水泳競技コーチの仲間づくり>>>水泳競技コーチの輪（グッドスタンダードの普及）
- ・水泳競技コーチの質と身分の保証>>>資格制度・資格の価値・資格の保証
- ・水泳競技コーチの成長支援>>>デベロップメント（学習機会・実践機会）
- ・水泳競技日本代表強化を支える>>>みんなの日本代表、みんなが関わる、みんなで感動
- ・世界レベルのコーチ発掘・成長支援>>水泳競技の発展（憧れ・記録を越えていく）

2052プロジェクト構想計画：角田壮監（KAKU SPORTS OFFICE)

2024/2052プロジェクトが推進する取り組み

〔目的〕 第3条

この法人は、水泳界を統轄し、代表する団体として水泳及び水泳競技〔競泳、飛込、水球、アーティステックスイミング、オープンウォータースイミング及び日本泳法をいう。以下同じ〕の健全な普及・発展を図り、もって国民の心身の健全な発達に寄与することを目的とする。

注) 日本泳法は、競技ではなく、武芸の一つとして古くから伝えられてきた泳法です。海や川、池などの様々な自然環境に合わせて、その目的別にいろいろな泳ぎが水中戦闘、更には泳力を誇示するための華々しい泳ぎなどもあり、かつては武士のたしなみとして重んじられていました。

理念PHILOSOPHY

水泳を通じて、国民の心身の健全な発達と社会の発展に貢献する

使命MISSION

強化：センターポールに日の丸を！

(競技力向上に努め、センターポールに日の丸を掲げ、人々に勇気と希望を与える。)

普及：国民皆泳

(水泳の普及に努め、国民皆泳を実現し、人々の健康保持・増進と水難事故防止に貢献する。)

行動指針PRINCIPLE

1. 競技力の更なる高みを目指す
2. 水泳の楽しさと喜びを伝える
3. 水泳を通じた教育と交流の輪を広げる
4. 水泳ニッポンの歴史と伝統を明日へつなぐ

2052プロジェクト構想計画：角田壮監 (KAKU SPORTS OFFICE)

2052プロジェクト構想計画

2024/2052活動予定

AQUATICS COACH BASIC LICENSE
水泳競技コーチの基礎資格 (案)

JASF競技力向上コーチ委員会：2052プロジェクト構想計画__角田壮監 (KAKU SPORTS OFFICE)